

事務事業名	H22新規 養育支援訪問事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5262																								
			所属課室	子育て支援課		課長名	藤巻喜代子																								
	☐ 実施計画事業		所属担当	児童		担当者名	長谷部裕子																								
基本政策	基本計画体系	17	快速で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																				
		28	社会福祉の充実		01	一般	03	02	01	04	01	1																			
政策			児童福祉の充実	事業区分	☒ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																										
施策					法令根拠	児童福祉法 南アルプス市養育支援訪問事業実施要綱																									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医薬材料費</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>23</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>48</td> </tr> </table>									項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	消耗品費	6			医薬材料費	19			委託料	23					計	48
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																												
消耗品費	6																														
医薬材料費	19																														
委託料	23																														
		計	48																												
事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 養育支援が必要な家庭に対して保健師・助産師などがその居宅を訪問し、指導・助言を行うことにより当該家庭の適切な養育の実施を確保する。 乳幼児家庭全戸訪問事業や母子保健事業などで養育支援が必要な家庭に保健師や助産師やヘルパー等を派遣して、指導・助言・支援をする。																															

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	利用世帯は1件。社協に委託しホームヘルパーによる訪問回数は10回実施。
22年度活動実績	社協委託によるホームヘルパーによる訪問
23年度活動予定	
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	養育支援が必要な家庭。
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	安心して養育環境が整う。
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	育児を安心に行えるようになる。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 活動回数	回
イ:	
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 0歳~18歳未満の人数	人
イ: 妊婦の数(母子手帳発行数)	人
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 養育支援により養育不安が軽減された割合	%
イ:	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: (支援により)安心して育児が出来ると感じる割合	%
イ:	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円		16	111	111	111	111
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		32	110	110	110	110
	事業費計 (A)	千円	0	48	221	221	221	221
	正職員従事人数	人		2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間		100	150	150	150	150
	人件費計 (B)	千円	0	446	594	594	594	594
(A) + (B)	千円	0	494	815	815	815	815	0
活動指標	ア: 回		10.0	35.0	40.0	45.0	45.0	
対象指標	ア: 人		13,712.0	13,800.0	13,750.0	13,700.0	13,700.0	
	イ: 人		594.0	650.0	650.0	650.0	650.0	
成果指標	ア: %			70.0	80.0	80.0	85.0	
	イ: %							
上位成果指標	ア: %							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	児童福祉法等の一部を改正する法律(H20年法律代85号)による改正により、本事業が努力義務になり、本市においてもH22年度から実施となる。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	H22年度開始の事業のため、大きな変化はないが、今後は核家族化、複雑な家族構成、親の養育力の低下等により本事業のニーズは増加すると予測される。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	複雑化する社会環境のため様々な事業を抱えた家庭があり、支援が必要な家庭には対応していく必要があると意見をいただいている。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている [内容:] ☒ 取り組みしていない [理由:]
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H22年度からの新規事業のため、改革改善は行っていない。
H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	H22新規 養育支援訪問事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている 【理由↓】 社会的に弱い立場の家庭に対する養育支援のため、政策体系との整合性は図れている。	
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である 【理由↓】 対象が社会的に弱い立場の家庭のため、民間やNPOが実施するとしても行政支援は必要になるため、公共関与は妥当である。	
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である 【理由↓】 H22年度から実施した事業であるため、現時点での事業評価は難しく、当面は維持・継続することが必要である。	
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 事業開始初年度は1世帯の利用だったが、今後は健康増進課等と連携を図ることで、タイムリーな対象者把握をし、支援を行うことができる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 法改正により実施した事業で対象世帯がある以上、影響はある。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 法で定められている事業のため、休止・廃止はできない。	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 事業評価や事業実績の蓄積が十分でないため、現時点では事業費の削減余地はない。	
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 事業評価や事業実績の蓄積が十分でないため、現時点では人件費の削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 乳幼児家庭全戸訪問事業や母子保健事業などで養育支援が必要な家庭を見出しているため公平・公正である。また、社会的に弱い家庭が対象となるため、受益者負担を徴収しなくてもやむを得ない。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	平成22年度利用が1名であった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☒ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☒	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について H22年度から実施した事業なので周知されていないため、利用者が少なかった。(健康増進課や社会福祉協議会と連携して周知を行う。)																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 子育て支援やサービスについて取りまとめたガイドブックを作成し、対象世帯に配布する。	(5) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						